

助成受給団体	水沢地区防犯協会連合会
事業の名称	「子ども110番のいえ」活動支援事業
実施期間	平成24年 8月1日～ 12月31日
<p>事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子ども110番のいえ」設置状況を確認 平成18年の設置場所について地区防犯協会が主となり、地域交番、駐在所と協議しながら、設置場所の確認(継続、廃止、名義変更)を行った。 ・「子ども110番のいえ」新規設置場所の検討 現在の設置状況をふまえた上で、今後必要な設置場所の検討を、小学校も含めて行った。 ・「子ども110番のいえ」委嘱状交付 平成24年12月14日年末年始特別警戒活動出動式において、「子ども110番のいえ」新規設置110カ所を代表して水沢区Tさんに委嘱状を交付した。 見直しを行った結果、廃止66カ所、新規設置110カ所となり、水沢警察署管内において387カ所を設置することとなった。 新規設置場所においては、委嘱状、マニュアル、のぼり旗を配布し、以前から設置されている場所にはのぼり旗、マニュアルのみ配布した。 確定した「子ども110番のいえ」設置名簿を、水沢警察署、奥州市、金ヶ崎町教育委員会、小学校に提出した。 	
<p>事業の成果</p> <p>子ども見守り活動の中心的役割として平成18年4月「子ども110番のいえ」を委嘱していたものの、水沢警察署管内の委嘱の見直しを含めた検証にも、事業費の獲得が困難な状況であった。 しかし、本助成事業により、防犯協会が主体となって、小学校、警察署等と連携して実効ある委嘱替えが達成できたことが、一番の成果である。 実際、学校ごとに「子ども110番のいえ」に対する認識、対応が異なっていることからの見直しであり、見直しをしたことで3者が共通理解を持って今後子どもたちの安全を地域で守るという機運が高まったことは、本助成事業の賜である。 さらに水沢警察署管内における声かけ事案は平成24年は31件(前年比17件増加)という状況もあり、ますます「子ども110番のいえ」の重要性が高まったといえる。</p>	
<p>今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前沢地区の小学校が平成26年に統合が決まっており、前沢地区に関しては、現状の確認となった。 統合後はスクールバスの運行も決まっており、統合後にもう一度見直しをしてほしいとの要望があり、ますます地域の中での「子ども110番のいえ」の位置づけが重要になったが、統合後の見直し等については当連合会の事業費の確保等が課題となる。 ・ また、看板に関して、平成18年から6年経過し、設置場所によっては看板の損傷が激しいものもあり、設置者から新しいものと交換してほしいとの要望があった。 新規設置者110枚は当連合会の予算から作成、配布したが全設置数は予算の関係上準備できず、今後の課題となる。 	

